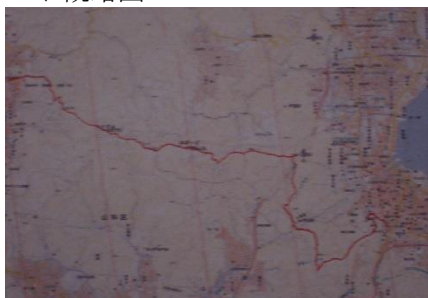


12月9日 逢坂山・如意ヶ岳

平尾 繁和

山名	滋賀一周トレイル (2) 逢坂山・如意ヶ岳	山行名	例会
ルート	上栄町駅～長等公園～逢坂山～小関越え～長等山～如意ヶ岳～大文字山～銀閣寺		
山行日	2023年12月9日(土)	天候	晴れ
参加者	CL 平尾、SL 藤村、1班：伊藤典、安倉、高山、玉井、西川、宮内、森田、藪 2班：伊藤多、岡本、佐々木、多田、牧之瀬、山田、米田/17名		

ルート概略図



コースタイム

地名		時：分	地名		時：分
上栄町駅			長等山	着	11:35
	発	9:05		発	12:05
長等公園	着	9:10	如意ヶ岳	着	13:00
	発	9:25		発	13:05
逢坂山	着	10:20	大文字山	着	13:40
	発	10:25		発	13:55
小関越え	着	10:45	銀閣寺	着	14:50
	発	10:50		発	

滋賀一周トレイル (2) は、2月の (1) 長等公園～音羽山～石山寺の反対周りで長等公園から東海自然歩道を一部とおり、逢坂山、長等山、如意ヶ岳の3つのピークを越え、大文字山までのルート。天気に恵まれ季節外れの気温 18℃の予報で、小春日和が予想された。長等公園の池の周りでは遅い紅葉が楽しめた。準備体操をして出発。園内の前回通行止めの道路は解除されていたが階段を登って展望台にでた。ここですでに汗がでてきて衣服調整。音羽山との分岐で東海自然歩道と別れ、右へ落葉の道を緩やかに西に進んでいく。タカノツメが黄葉していた。突き当りを左へ 100m 程行って鉄塔のところから南の音羽山を眺め引返す。坂を登って左へ再度寄り道、木立の間を抜けると西に山科方面が広がっていた。逢坂山はそこから数分、樹林の中のピークで三角点があった。先に進むと東側に琵琶湖方面の展望が広がる。正面に三上山、左手に比良山系まで一望できるが、黄砂のせいか霞んでいて伊吹山は見えなかったのは残念だった。写真をとって北へ下る。落葉の道を歩いて、掘れた狭い間に落葉の積もったすべりやすい所を下って舗装路にでた。小関越えである、左へ行くと疎水をへて山科へでられる。道路を渡りスギ林の中を進む。三井寺からの道を2回越え、まっすぐ行く。花崗岩の抉れた崖がある。途中だんご石や児石などがあった。登り切って右へ入ると樹林の中に長等山山頂があり、東が少し開け琵琶湖方面が見える。この先如意ヶ岳まで広い場所がないので長等山で少し早い昼食。午後は如意越えの道(如意古道)を西へ向かう。如意越えの道は平安時代平家に反乱を企て露見した以仁王と源頼政が園城寺(三井寺)へ逃げた道という。急登を越え西へ樹林の中をしばらく歩くとアカガシの太い木が道脇にあり、その先の分岐を右へ急な崖を登って舗装路に出る。振り返ると展望が開けていた。舗装路をしばらく歩いた右側には、木が切り払われ簡易トイレやテーブルが据え付けられ野外施設が作られるようだ。その先の舗装路の行き止まりに運輸省の航空安全施設があり立ち入り禁止になっている。そのフェンスの中に如意ヶ岳山頂の三角点があり行くことはできない。フェンスの周りを右に回り、登山道に合流する。樹林の中を途中で雨神社を下に見て西に進み、やがて蹴上からの道と合流するとまもなく大文字山頂についた。ここで展望を楽しみゆっくり休憩した。下山は火床へおりしばし京都市街を眺めてから銀閣寺登山口で解散した。風もなく穏やかな小春日和、往きかう登山者と声をかけながら遅れた紅葉を愛で落葉を踏んでの山行となった。2班に分けたが、みんなそろって元気に歩くことができた。次回 (3) はどちらにしようかな?

YAMAP : 10.9 km、5時間45分、累積標高差 734/768m

ヒヤリハット なし



逢坂山山頂にて



大文字山火床から

一言感想

安倉 稔行

入会2回目の山行です。標高差は前回高取山 553m、今回は 736m、+183mもあり心配で昨夜は寝付けず睡眠不足で参加。暖かい曇り空の朝、上栄町駅を出、長等公園で準備体操していよいよ出発です。いきなり階段が続きどうなるかと思いましたがすぐに山道に、最初の逢坂山からは琵琶湖と霞んだ三上山が見え一息き、次の長等山で琵琶湖を見ながら早めの昼食を取り、如意ヶ岳頂上に着いた頃には12月と言うのに暑くて暑くてシャツに。最終大文字山では京都市内が一望でき晴れやかな気持ちになりました。初めて見る大文字送り火の火床を見て一気に下山、銀閣寺裏で解散。CL平尾さんに「私は体力がなく付いて行けるか心配です」と話していたためかゆっくりしたスピードで登っていただけ、へばることなく縦走できました。それでも最後は足が張ってだるく、背骨と腰が痛くなって自分の限界を感じた次第です。みなさんありがとうございました。

多田 京子

滋賀から京都への山越えのコースは、琵琶湖を眺めたり、京都の街を眺めたりしながら、秋の紅葉もあちこちで楽しむ事ができました。第3回も是非参加したいです。

宮内 毅

私が京都に住んで25年が過ぎ大文字山へは一度は登って見たかった山、火床付近から「京の都」を眺めながら「京都に住んで良かった」「山友会に入会して？」と思った。来年も滋賀一周トレイルに参加します。山仲間へ感謝。

森田久美子

まだイロハモミジ等の紅葉が楽しめる長等公園をスタート。途中、以前登った音羽山を眺め、あんなに高い山だったと気づいた。逢坂山山頂近くでは琵琶湖の眺望を楽しみ、遠方に微かに近江富士も見ることができた。長等山から如意ヶ岳、大文字山まで歩く中、山科の市街、京都盆地も見渡せ、登山道では落葉し明るくなった森の景色を充分楽しんだ。晩秋から初冬への森の移り変わりを感じる山行でした。皆様、お世話になりありがとうございました。

藪 博美

12月とは思えないほどのぽかぽか陽気のなか、落ち葉を踏みしめて歩く感触とその音がとても心地よく、穏やかな山行でした。逢坂山が舞台になっている百人一首を、同じ班の方が紹介してくれました。

「名にしおはば 逢坂山の さねかづら 人に知られで 来るよしもがな」 古人の歌に込めた熱い思いに少し触れることができた気になりました。

米田 佳子

気持ちのいい山行でした。琵琶湖や京都盆地を眺めてとても綺麗でした。大文字山の火床は何故かうキウキウしてしまいます。京都市内を独り占めしてる感じがします。滋賀一周頑張ろうと思いますが地図で見たらまだまだほんの少しです。いつになったらコンプリート出来るんだろう 😊 次回も楽しみにしています。よろしくお願いします。